



議会だより

かみかわ



神河町マスコット
キャラクター
「カーミン」

第 51 号

平成 29 年 7 月 12 日



神河町子ども会球技大会(6月17日)

ちからいっぱい がんばるぞ～

空家対策条例可決 2

議案審議の様子 3～4

委員会の活動 5～10

4人が登壇 いっぱん質問 11～15

空家対策条例可決

危険空家に行政代執行が可能に 所有者責任が明確化

第80回定例会は、6月16日から28日までの13日間の会期で開催されました。各委員会報告、諸報告に続き、町からは報告6件、中播公平委員会委員の選任1件、条例制定・改正5件、中播衛生施設事務組合規約の一部変更1件、平成29年度補正予算6件、また議会から委員会条例の一部改正の発議1件の計20件が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。条例制定では「空家等の適正管理及び利活用の促進に関する条例」が制定され、特定空家（危険空家）と認められれば行政による代執行が可能になります。また、4人の議員による一般質問が行われました。

平成29年度神河町一般会計補正予算（第3号）、神河町空家等の適正管理及び利活用の促進に関する条例制定の2議案は、総務文教常任委員会に付託された。

補正予算では1月の大雪による除雪能力不足の
判明により、2台のロータリー式除雪車のリース料、企業版ふるさと納税を活用した観光案内看板等、総額8332万5千円の増額補正が提案された。

委員会では、カーボン
マネジメント事業で外部委託した概算設計に基づいて予算化されているものが、実施設計前に大幅な補正がなされることに「概算とはいえ精度が悪すぎるのではないか」といった質問が集中した。

また、神河町空家等の適正管理及び利活用の促進に関する条例制定では、近年社会的問題となっており特定空家（危険空家）対策や空家の利活用に関する所有者等の責務が明確化される。今後、所有者が特定空家を撤去した場合の補助制度を協議していく。

第78回臨時会

4月27日開催

超高速ブロードバンド

基盤整備事業工事請負契約

1月10日開催のプロポーザル審査委員会で決定した契約候補者（富士通ネットワークソリューションズ（株））から、4月1日改めて見積書・資格審査書類を徴し、次のとおり随意契約を結ぶため、議会の承認を求めるものです。

超高速BB基盤整備事業工事の概要

契約金額 7億2,144万円
光ケーブル敷設延長 約133km
工期予定 平成31年3月15日（2ヶ年工事）
29年度 局舎内機器更新、光ケーブル敷設等
30年度 光ケーブル敷設、宅内工事

峰山高原スキー場センターハウス新築工事請負契約

4月20日事後審査型条件付一般競争入札方式で行われました。

その結果、（株）片岡建設が落札し、2億1,924万円で契約を結ぶため、議会の承認を求めるものです。

工事の完成は、10月31日の予定です。

峰山高原スキー場センターハウス新築工事の概要

建物構造 鉄骨2階建て（ルーフデッキ葺）
延床面積 900㎡
1階 事務室、レンタルスキーコーナー、更衣室、スキー乾燥室、風除室、売店コーナー、トイレ他
2階 ホール、研修室、多目的交流室、キッズルーム、レストラン、厨房、休憩室、倉庫他

峰山高原スキー場設備整備工事（第2期）請負契約

4月20日指名競争入札方式で行われました。

その結果、日本ケーブル（株）大阪支店が落札し、1億3,345万5,600円で契約を結ぶため、議会の承認を求めるものです。

工事の完成は、11月30日の予定です。

峰山高原スキー場設備整備工事（第2期）の概要

第1リフト延長（Aコース用）697.81m（3人乗り）
※ゲレンデ（Aコース）の延長は862m（共用部も含む）
支柱 13基
搬器（いす） 108台

一般会計補正予算 第1号

超高速ブロードバンド基盤整備工事の機器更新を先行することによる補正で、歳入歳出それぞれ973万9千円を減額するものです。

第79回臨時会

5月29日開催

一般会計補正予算 第2号

地方創生推進交付金対象事業の変更による補正で、歳入歳出それぞれ691万8千円を増額するものです。

道の駅「銀の馬車道・神河」整備工事請負契約

5月18日事後審査型条件付一般競争入札方式で行われました。

その結果、（株）神名工務店姫路支店が落札し、1億2,600万円で契約を結ぶため、議会の承認を求めるものです。

工事の完成は、10月31日の予定です。

道の駅

「銀の馬車道・神河」整備工事の概要

敷地面積 1,973.67㎡
建物構造 木造平屋建て
延床面積 150.72㎡
整備内容 県管理施設：休憩スペース及びトイレ（新設）
町管理施設：中庭、東屋（新設）、大黒茶屋（現建物を改修）、アンテナショップ（現トイレを改修）
駐車スペース（県管理） 大型車7台、普通車21台、障害者用2台

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆ ※第80回定例会

報告番号	件名
第1号	専決処分の報告の件(交通事故に係る損害賠償の額の決定及びその和解)
第2号	専決処分の報告の件(交通事故に係る損害賠償の額の決定及びその和解)
第3号	専決処分の報告の件(交通事故に係る損害賠償の額の決定及びその和解)
第4号	平成28年度神河町一般会計予算繰越明許費に係る繰越計算書の報告の件
第5号	平成28年度神河町水道事業会計予算に係る繰越計算書の報告の件
第6号	平成28年度兵庫県町土地開発公社の事業報告の件

議案番号	件名
第52号	中播公平委員会委員の選任の件
第53号	神河町空家等の適正管理及び利活用の促進に関する条例制定の件
第55号	神河町地域包括支援センターが包括的支援事業を実施するために必要な基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
第56号	神河町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件
第57号	神河町医師修学資金貸与条例の一部を改正する条例制定の件
第58号	中播衛生施設事務組合理約の一部変更について
第59号	平成29年度神河町一般会計補正予算(第3号)
第60号	平成29年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
第61号	平成29年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
第62号	平成29年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
第63号	平成29年度神河町水道事業会計補正予算(第1号)
第64号	平成29年度神河町下水道事業会計補正予算(第1号)

発議番号	件名
第2号	神河町議会委員会条例の一部を改正する条例制定の件

◆賛否の分かれた議案等◆ ※第80回定例会

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	1 藤原裕	2 藤原日	3 山下	4 宮永	5 藤原資	6 藤森	7 小寺	8 松山	9 三谷	10 小林	11 廣納	12 安部
第54号	神河町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件	9	1	可決	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	—

○は賛成、×は反対です。12番、安部議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆ ※第78回臨時会

議案番号	件名
第43号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(神河町税条例の一部を改正する条例)
第44号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(神河町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
第45号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(平成28年度神河町一般会計補正予算(第8号))
第46号	神河町超高速ブロードバンド基盤整備事業工事(設計・施工一括型)請負契約の件
第49号	平成29年度神河町一般会計補正予算(第1号)

◆賛否の分かれた議案等◆ ※第78回臨時会

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	1 藤原裕	2 藤原日	3 山下	4 宮永	5 藤原資	6 藤森	7 小寺	8 松山	9 三谷	10 小林	11 廣納	12 安部
第47号	神河町峰山高原スキー場センターハウス新築工事請負契約の件	10	1	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
第48号	神河町峰山高原スキー場設備整備工事(第2期)請負契約の件	10	1	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆ ※第79回臨時会

議案番号	件名
第50号	道の駅「銀の馬車道・神河」整備工事請負契約の件
第51号	平成29年度神河町一般会計補正予算(第2号)

委員会の活動

総務文教

5月24日開催
5月29日神河中学校
現地調査

教育課

①越知谷小学校は、当面統合しない方針であったが、地区から検討を望む意向を受け、地域やPTAで協議会を立ち上げ検討していく。

②4月18日の大雨で、神河中学校の3階デッキから雨水が入り、校舎に浸水、3階から1階までの廊下、2階と1階の天井、電気設備等に被害を受けた。

原因は、3階のデッキにある排水口が詰まって排水できなかった。設計上は大丈夫であ

る。早速点検の強化を各学校、施設に伝えた。再発防止策ができた。第、委員会に提出したい。

Q 排水口が詰まって、水が溢れたとのことだが、少しお粗末でないか。

A 建築後、一度も掃除していなかったことが要因。デッキ全体が敷き詰められていて、排水口が分からなかった。

Q 設計上の問題ではなく人的ミスで、修理費が約200万円要る。再発防止をしっかりとやってほしい。

A 十分検討して再発防止を図りたい。

今後の対策のため、設計事務所も交え検討するように提案した。

Q 神崎小学校に適應教室を設ける話だが、学校以外にもあったほうが良いのでは。

A 神崎小学校には対象児があり、場所など十分考え設置したい。

他町では、学校外の所もあるが、神河町は中学校に置いている。いい方向が出ているので、今の方針でやっていきたい。

Q 教員の勤務実態は多く残業がある。教員が不足しているのではないか。

また、部活にも時間を費やしている。外部指導員の導入も可能と聞くが。

A 定員40人を基準に配置している。勤務時間の適正化やノー部活デーにも取組んでいる。

教師は子どもに関わる時間を多く持ったために、遅くまで準備している。

外部指導員導入には課題はあるが、検討の時期に来ている。

Q 地域交流センターでは、田植えなど自然に親しむ体験ができる。田に囲まれた神河町の小学生が体験をせずにいる現状をどう思うか。体験の取組みができないか。

A 教育上大切なことだが、学校全体で取り組むことは難しい。体験を希望する家庭は、土曜チャレンジ学習などに参加してほしい。

Q 学校給食センターで従事者の努力により、異物混入が前年度と比べ1件に激減した。褒賞できないか。

A 委員会のセンター視察の際に、委員よりあった評価の声を職員に伝えた。良かったなあといいことでした。現場は、それで充分と考えている。褒賞制度については、今後検討していきたい。



秋の収穫が楽しみだ！（作畑）

情報センター

超高速ブロードバンド
基盤整備工事は契約済。

Q 告知放送が防災無線
になったが、住民の
反応はどうか。

A 切り替わった当初、
防災無線に支障があ
り問い合わせが多くあった。
今のところ、あまり影
響が出ていない。

税務課

Q 不納欠損を毎年70
0万円程度している。
税の公平性、平等な負
担の観点から十分な取組
みが必要だ。留意してほ
しい。

A 毎年11月に各課でま
とめ、滞納整理委員
会で検討している。安易
に処理するのではなく、
しっかり対応している。

Q 口座振替を実施して
いるが、納税者にメ
リットがない。何か考え
られないか。

A 検討したい。

会計課

公金管理状況、出納管
理は適切と判断しました。

ひと・まち・みらい課

Q アグリイノベーション
にんにく等を栽
培しているが、他産地と
太刀打ちできるのか。

A 28年は初年度で技術、
時期等課題が多かつ
た。栽培技術を確定し継
続栽培で産地化を図る。

Q アドバイザーから神
河は耕土が浅いと言
われたが、何か対応して
いるか。

A アグリイノベーション
神河で耕作してい
る福本の農地を、水捌け
が良いように改良する。
耕土を増やす対応もす
る。

Q 交付金がなくなった
後が心配。営農指導
員との連携や地域の人の
経験を取り入れた取組み
が必要だ。

A 営農指導員とも連携
し、2年目は実績が
上がるよう取り組む。3
年間で自立できる体制を
作りたい。

Q 栗賀小学校跡地利用
の基本方針検討会で、
公民館や体育館が出てい
る。

重複施設は作らないと
いう話はどうなったのか。

A 同等のものをここに
作るとの考えではな
い。今後の検討としてい
る。

単に地元の意見だけを
聞くのではなく、広く意
見を聞く対応が必要で
あるとの意見が出た。

総務課

Q スキー場関連設備の
入札で、指名業者の
規模に差があった。設備
業者にもランクづけが必
要でないか。

A 検討課題と認識して
いる。入札審査会で
協議したい。

議会委員会条例の 改正

総務文教常任委員会の
所管となっていた「ひと・
まち・みらい課」を、産
業建設常任委員会の所管
に変更するものです。

4月から、町の事務分
掌の変更があり、地域振
興課が担当していた公共
交通対策、空家再生等の
住宅施策、企業誘致等多
くの事業が「ひと・まち・
みらい課」に移行した。
アグリイノベーション
の取組みや、所管事務量
を考え変更が適切である
と提案され、可決しまし
た。



にんにく栽培（新野）

民生福祉

5月26日開催

公立神崎総合病院

電子カルテがスタート

5月22日、電子カルテとPACS（画像保存通信システム）の一部稼動が始まった。11月のフル稼動を目指して整備を進めている。

無いようにし、取り壊しの音にも配慮して工事を進めていく。

Q 採血室のカウンター前の椅子が撤去され、通路側で待つことになったがなぜか。

A カウンター前は避難経路なので、幅の確保をするよう消防署の指導があり移動させた。

健康福祉課

障害福祉サービス事業所「つなぐ」がオープン

「デイサービスセンター」に併設され、放課後デイサービスや生活介護等、障害のある方の受入が始まっている。

Q 神崎郡障がい者福祉ニーズ検討会の2年間の検討結果報告で、具体的施設整備の目標値は示されたのか。

A 関連機関との連携等のニーズ調査に終わったとの報告であった。



広くなった病院の通路

Q 障害者施設の整備について町の考えは。

A 町単独で大きな施設を持つことは難しい。

Q 法改正により、介護保険施設を児童や障害者も利用できる方向に国が動いているので、町もそれに乗っていききたい。

Q 要支援1・2のサービスの一部が介護保険から外れた4月以降、新規にサービスを受けるのは難しいと聞くが。

A 介護保険の申請手続きは従前どおり。ただし、状況調査の中で、介護サービスとは別の体操教室等の利用となる場合もある。

Q 地域課題とその対策について考える「生活支援協議体」の設置に向けた具体的な取組は。

A 各区長と面談し、支援員が決定した区には、社協の生活支援コーディネーターと健康福祉課の職員が出向き、説明会を開いている。

住民生活課

防災無線の不具合はノイズ(電波障害)が原因

・関西電力送電施設（電線の碍子や避雷設備）から発生するノイズ。

・戸別受信機のタコ足配線（CATV告知端末・FAX・携帯電話の充電器等）によるノイズ。

・戸別受信機のロードアンテナを介した、LED電球やテレビの部品からのノイズ。

その他、戸別受信機のアンテナが伸びていないことの起因もあった。

Q 戸別受信機の音声の再生や消去の操作方法の説明が必要では。

A 町広報誌や放送等で、説明していく。

Q 中播北部ごみ処理場の候補地の選定は。

A 郡内3町それぞれ5ヶ所程度の条件の合う所を利害関係のないコンサルにより選定してもらい、3町の検討委員会で絞り込む考えでいる。

Q 防犯灯のLED化計画は。

A 町管理分は196基（神崎エリア126基、大河内エリア73基）の内23基交換済。29年度は17基予定。

今後は街路灯含め過疎債等を活用しながら早期完了を目指す。

Q 北館改築工事が始まると患者にも迷惑がかかるのでは。

A 透析室は一部を事務所に使う予定。他の部屋も療養環境に影響が

産業建設

5月15日開催

建設課

完成はいつ

Q 水走り中河原線に遅れが出ているが。

A 用地買収に努め、最終的に県道との接続までには2カ年ぐらいかかる。

Q 過疎地域に指定され、建設課関係事業はかなりのウエイトを占めると思うが、過疎地域自立促進計画の進捗状況は。

A 計画策定に向け、各課で計画を出し合っている。建設課では道路の舗装の傷みが多いので修繕に取り組んでいきたい。

防災対策は

Q 除雪・大雨の防災マニュアルはできているのか。

A 除雪のマニュアルはできていないが、現

地の状況を見ながら判断し、進めていく。

大雨時のマニュアルは水防計画の中で対応する。

上下水道課

Q 遠隔監視システムの運用でのコスト削減の効果は。

A 通信費で約100万円、保守管理費用で約300万円、合わせて約400万円年間支出が抑えられる

Q 未納者の対応はどのようにしているのか。

A 督促状、催告書、あるいは給水停止等をやっている。また、訪問もしているが、留守が多く成果につながらない。繰り返しやっていきたい。

地籍課

事業は計画どおり順調に進捗している。

地域振興課

《地域振興係》

道の駅12月オープン

Q 道の駅設置条例が必要では。

A 12月オープン予定であり、その後になる。3月までには対処したいと思っている。

Q 大黒茶屋の営業は。

A 客の多い夏休み期間を避けて、9月以降2ヶ月程営業をストップすることになる。

《商工観光係》

Q 観光施設へのペットの持ち込みはできるのか。

A 各施設一応禁止になっている。

Q グリーンエコー笠形の体育館等の清掃が悪い。これでいいのか。

A 農村改善センター・プール・体育館には常駐職員がいない。しっかり清掃するよう指導する。

Q 桜華園のPRパンフレットと現状が違うが、これでいいのか。

A 大きな看板も設置し、手すり・トイレも改修した。ギャップもあるかと思うが、来客者は木も大きくなり見応えがあると満足されている。町としての玄関口でも

あり、播但道から綺麗に見えるようにと考えている。

《農林業係》

道の駅の工事は建設課担当になり、農林業係は管理と地域の方々と携わっていく組織づくり的なことを担当する。



広くなった水走り中河原線の北山根橋付近

人権文化推進 特別委員会

5月17日開催

①人権学習事業

各学校の人権学習発表
状況を見ると素晴らしい
学習成果が上がっている。

人権に対する考え方や
感じ方、想いなどを共有
しながら学習ができな
いか。また、お年寄りへ
の人権についても学習の
中に取り組めないかな
どの提言をした。

②いじめ問題

28年度から国・県の調
査方法が変わったことで、
若干該当する報告件数は
あるものの、世間で問題
となっているような事例
はなかった。

③差別をなくすための体 制づくり

あらゆる差別をなくす
ために、行政・教育機関
は勿論のこと町民の声も
直ぐに反映できる体制を
とっている。

④本人通知制度

郡内の登録件数はまだ
まだ少ない。

3町が足並みを揃えて啓
蒙・啓発活動を行ってい
ただくよう提言をした。

公立神崎総合病院 北館改築事業調査 特別委員会

5月22日

6月28日開催

6月9日、事後審査型
条件付一般競争入札を実
施し、その結果、(株)松村
組大阪支店が落札した。
契約金25億9200万
円、工事の完成は、平成
31年8月31日の予定です。

主なQ&A

Q 工事における騒音、
ほこり等の対策は。

A 中館の時は、騒音は
防音シートで、解体
は斫りではなくアームで
挟んでの工法で行った。

ほこり対策は散水しな
がら解体した。打合せ時
に十分協議する。

Q 支払い条件と財源は。
A 支払いは、前払金限
度額の5000万円

と、各年度末と完成時に
支払いをする。病院事業
債を年度末に借り入れて、
それを充てるので、一時
借入することなく支払い
ができる。

Q 町内調達率15%の努
力目標だが、業者は
どう受け止めているのか。

A 設備関係や消耗品等
を含め町内業者にお
願いしたいとの報告は受
けている。

Q 契約額より追加が出
ないように努めてほ
しい。

A 契約内容に変更等が
ある場合は事前に協
議させていただく。

峰山高原スキー場 整備事業調査特別 委員会

5月22日開催

追加工事等により事業
費は10億8290万円に
なる。

29年度の財源を辺地対
策事業債から過疎債に振
替える協議を県としてい
る。

過疎債を充当した場合
の一般財源相当額は、約
2億5563万円になる。

調整池工事

進捗率は、1期工事55
%、2期工事8%。

処分土が軟弱なため、
地盤安定処理工事を追加
発注。

造成工事

進捗率50%、伐採はほ
ぼ完了。

湧水対策の暗渠排水設
置工事を追加発注。

設備整備工事

リフト・人工降雪機・
照明・電気等設備整備工
事の進捗率は1期工事47
%、2期工事10%。

第二リフトの支柱5基
の基礎部分は、地耐力が
不足しているので杭打工
事を追加発注。

センターハウス新築工事

進捗率1%。
受水施設改良工事は5
月18日に入札し(株)フソウ
神戸支店が落札した。

道路整備

県道加美栗線のチェ
ーン着脱場、トイレ設置、
安全施設、視距改良は、
引き続き協議していく。
臨時駐車場は、造成の
設計にかかる。

町道峰山砥峰線の道路
際の立木伐採は、4月以
降、順次実施した。

案内看板

電光掲示型の看板設置を、播但道神崎南インターを下りた所と国道312号の市川町境付近で考えている。

掲示内容をパソコンで職員が変更でき、いろいろな活用ができる。

スキーシーズン以外は、一般の観光PRにも使う。電柱に巻き付ける看板は、国道312号と県道加美穴栗線などで47ヶ所を考えている。

設置費約3000万円の財源は、企業版ふるさと納税と寄附金で確保する。

委員会では、設置場所、設置数、町全体の観光施設の看板を検討するよう意見が出た。

主なQ&A

Q 各工事は計画どおり完了するか。

A 工期内に完成すると考えている。

12月13日に竣工式、16日オープンを目指し進めている。

Q 遊歩道、ハイキングコースは、夏場は使えるか。

A 使える。これまでよりも森を楽しめる。

Q 第2リフトの基礎部分の追加工事は、想定できていたのでは。

A 基礎の底面まで掘削して初めて明らかになる。

Q 有効利用した伐採木の量は。

A 129人の方が持ち帰られた。量は約180トン。

Q 県土木事務所との県道改良、チェーン着脱場改修、地元とのトイレの協議状況は。

A 早急に詰めていきたい。

Q 国道312号の電光掲示板は、反対車線

ではなく走行車線に設置すべきでは。

A 北向き車線の左側は河川なので場所が確保できない。

Q 神崎南インターを下りた所、貝野橋東交差点には、いろいろな看板がある。再編成する考えはないか。

A 改善していきたい。

Q 電柱に取り付ける看板は使用料がいるのか。

A 原則有料である。

Q 1年間に発行できる過疎債の額は積算しているか。

A 年間約8億円、4年間で32億円程度が可能。

Q 辺地債で計画している道路整備も過疎債に振り替えるのか。

A 道路整備は、有利になる方を考えている。



工事が進むスキー場（眺晴山より）

みなさんの **声** を **町政**に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員が自ら原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は4人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
12	廣納良幸議員	3期目の町長選挙に挑むに際して、2期8年間の総括・自己評価と、3期目に向けての抱負・目標・課題・必須項目について
13	藤原裕和議員	① 長期総合計画や地域創生の現状をどう分析、評価しているか ② 人口減少問題に対する町長としての名案は ③ 若者の町外流出対策について、若手職員の思いは
14	山下皓司議員	① 地域創生総合戦略の取組みの現状は ② 防犯灯・街路灯の管理の適正化を
15	松山陽子議員	神河町の障害者福祉政策を問う

議会の本会議は傍聴することができます。希望される方は、本会議当日に議場入り口の傍聴人受付簿に住所、氏名等を記入してください。なお、定員は先着順に30人までです。傍聴者が20人以上となる場合傍聴席の準備が必要となりますので、団体での傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡ください。

本会議場での傍聴をお待ちしています。



3期目の町長選挙に挑むに際して！

町長

更なる地域創生で住むなら神河町と！



廣納 良幸 議員

Q 1期目4年・2期目4年と8年間の総括と自己評価は。

A 山名町長 1期目の総括・自己評価、具体的政策課題については、

①財政の健全化。

②学校統合問題。

③公立神崎総合病院の経営健全化と医師確保、医療・福祉策。

④雇用と農林・商工・観光一体の地域振興施策。

⑤住民参加と安全安心のまちづくりとし、取り組みを推進しました。

①財政の健全化では、職員数の減員（普通会計職員180名から50名の減員）。実質公債比率22.8%から24年度決算で18%に。就任当時の借金を4年間で37億円、住民一人当たり約30万円を改善（251億円を214億円に）。今後の課題としては、重複施設、社会体育施設、収益施設等の維持運営等で評価は90点。

②学校統合問題では、7小学校園を4小学校園に統合。今後の課題としては学校の長寿命化、少子化対策があり評価は90点。

③公立神崎総合病院の経営健全化と医師確保、医療・福祉対策では、神戸大学への研究費支援と医師確保対策、大阪医科大学との連携強化による医師派遣。また、中学3年生までの医療費無料化を所得制限撤廃とした。評価は85点。

④雇用と農林・商工・観光一体の地域振興施策では、カドミ対策（湛水栽培）と鳥獣害対策、「サル監視員」「シカ捕獲隊」等の取組み。県民緑税を活用した防災林、混合林、野生動物育成林整備。播但線利用促進・駅前フォードラムの取組み等。課題としては「地産地消」と6次産業化の一層の推進による雇用・元気づくり、再生エネルギーの取組推進等で評価は80点。

⑤住民参加と安全安心のまちづくりでは、県道・河川等維持管理対策を強化。県道改良、河川土砂対策の実施を引き続き要望。町道、林道改良と孤立集落防止工事。避難所表示、雨量計・水位計設置、衛星携帯電話、デジタル無線配備等。課題としては高齢化等による区内環境対策、各集落要望事業の推進継続と自助・共助・公助のまちづくりで評価は85点。

Q 退職された元気な高齢者（60～65歳以上）に農林・商工・観光で再出発を！

元神河町の人達にUターンで第2の輝やかな人生の居場所づくりに！

A 山名町長 3期目の目標は更なる地域創

生の実行と神河町に住んでみたい、住んで良かった。「住むならやっぱり神河町」と皆様に言っていただけるまちづくりを目指してまいります。その実現のために頑張ります。



町長懇談会（寺野区）



ち 縮むまち、名案は

町長

施策が功を奏している



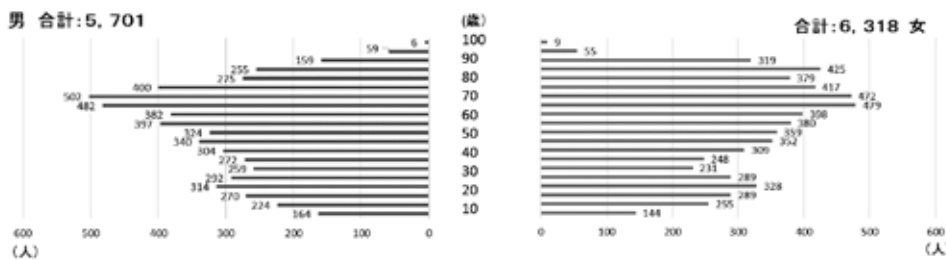
藤原 裕和 議員

Q 山名町政がスタートして2期8年、これまで山積する課題解決が図られてきたが、依然として人口減少や若者の流出が続いている。今回、神河町の全域が過疎地として指定された。次期に向け見直す中で特効性のある施策を望む。これらの持続可能なまちづくりを進める上で名案はありますか。

A 山名町長 最大の課題は「人口減少対策」と「山と農業の再生」であると考え。神河町の地域資源を最大限活用した魅力あるまちづくりや、移住・定住しやすい環境を作り若者定住を図る。子育て支援施設の更なる充実で「住むならやっぱり神河町」を目指す。

過疎計画を含め来年は地域創生の見直し時期で、長期総合計画策定と併せて住民の皆様としつかりと議論を深め町の歩むべき姿を導き出したい。特に若者の町外流出を止めるため最大月額2万円の

家賃補助や中古住宅購入も含め最大190万円の住宅取得支援、引越し費用の助成など、また子育て支援策では中学3年生までの医療費の無料化（所得制限なし）や保育所・幼稚園の保育料の軽



平成27年度人口分布表

減など、さらに創業支援の施策が功を奏していると考え。

今後、スキー場の開設に伴う事業も想定され、農林業の企業誘致も含め継続して取り組む。

Q 若者目線で魅力ある町に！

A 山名町長 本年度の役場新入職員8名による研修で、「産業の活性化の企業誘致を推進」「子育て世代が休暇を取り易い企業」「IT分野に強い企業の誘致」「商業施設を増やし利便性の高いまちづくり」「町の情報発信の強化」「移住体験ツアーやインターネッ

ット、観光等で「神河ファアン」を増やす」「町営住宅の整備」「若い世代のコミュニティの形成」「子育て世代が交流できる場づくり」「時間外にも対応できることも専門病院の設置など子育てのしやすい環境整備を進める」「婚活パーティーに併せて異性との接し方や

結婚プランなどをセットで実施し成功させる」「コンパクトなまちづくりを進める」「未発見・未注目観光地や商店にスポットを当てPRする」「車利用頻度が高いので購入支援の創設」「ベビー・子ども用品等の譲り渡しイベントの開催」などの意見があった。

ひとこと

役場の若い方
女性の皆さん“アイデア”が
欲しい。

Q 地域創生総合戦略の取組みの現状は



山下 皓司 議員

町長 川の再生、地域創生の課題

Q 地域創生総合戦略事業の現状は。

平成27年10月に神河町地域創生戦略が、産・官・学・金・労等各界の英知を集め策定されました。この策定にあたり、私は総合戦略に、次の2点を加えてほしいと提案しました。

①越知川名水街道の価値を高めるため、「越知川のアユ漁を住時のようにする取組み」

②通勤・通学を便利にし、定住対策を図るため、「JR播但線の輸送力強化の取組み」は、総合戦略に取り上げられていませんが、現状と取組み状況を聞かせてください。

A 山名町長 川の再生は町全体の課題として取り組む。

提案については、検討した。総合戦略は個々の項目は掲げていませんが、総合的な面で、取組みの対象としている。なお、見直しは、来年度実施の予定である。

①について、越知川に限らず、カワウやサギの被害や保水機能低下による水量の減少、針葉樹林化による水の成分の変化もアユ・アマゴの生育に影響していると言われている。

現在、カワウやサギ対策を各漁協でされているが、当面の対策として、アユ・アマゴ以外の大型魚（マス）などの放流を漁協に投げかければと思っています。

河川の再生には、徐々に破壊された自然環境にあるのでないか、山の再生が課題と考える。時間のかかる取組みとなるが、町全体の課題「地域創生」の課題として考えていきます。

②について、寺前駅以南は、イコカの導入などで利便であるが、長谷駅以北は、長谷駅通過列車もあるなど格差が広がっている。

現在、長谷駅通過列車対応として、町は影響を

受ける人への通勤・通学の補助、地域では、駅の活用につながるイベントを開催するなど、利用促進を図ってもらっている。

本年度、長谷地域全体の観光や課題の解決などの意見交換も行っている。地域の皆さんと議論しながら、長谷駅の利用促進に繋がる計画づくりをしたい。

Q 福崎駅止まりを寺前駅まで延ばす取組みはどうか。

A 山名町長 協議はしたが、現状の乗客数では難しい。

Q 防犯灯・街路灯管理の適正化を。

27年度の決算審査にあたり、町管理の防犯灯・街路灯の配置に差異がある感を持ち、決算特別委員会の提言として、是正を求めています。

以後、説明も受けたが、やはり適正化が必要と考えました。

①適正化に向けた取組み

の現状は。

②防犯灯・街路灯は公共性が高い、町管理を増やす方向で検討されては。

A 山名町長 防犯灯設置の基本を踏まえ方向を出す。

防犯灯は、結論を出していない。次の議会までに、方向性を出したい。街路灯は、ほぼ同基準で設置していると理解してほしい。

町管理を増やしていくことについても、公共性等を踏まえて方針を出したい。



利用促進が必要な長谷駅



障害者福祉の推進に対する思いは



松山 陽子 議員

町長 本町においても共生型社会の構築を

Q 第5期障害福祉計画の策定に向けた、町長の障害者福祉の推進に対する思いは。

A 山名町長 神河町の障害者手帳所持者

(3障害)数は29年3月末現在817名。特に発達障害がある子どもが増えている現状や手帳未交付の軽度の方も多い状況にある。また統合失調症・うつ病など社会的問題による疾病を持つ方々も増加している現状に危惧しているが、個人の尊厳を認め合い支え合いながら、これからも住み続けられる町づくりを進めていくことが大切だと考えている。

国において、福祉分野を取り巻く課題に対応するため、28年3月に、「地域の実情に合った総合的な福祉サービスの提供に向けたガイドライン」が厚生労働省から示された。その基本的な理念は、高齢者、障害者、児童等が集い、誰もが分け隔てなく支え合い、その人の

ニーズに応じた支援が受けられるという共生型社会の構築である。

本町においても共生型の多世代交流・多機能型の福祉拠点による地域づくりの取組みができるよう関係機関と調整しながら計画作りに反映したい。

Q 計画に向けての二大調査の方法は。

A 大中健康福祉課長

障害者計画については、手帳所持者全員を対象にしたアンケート調査をし、障害福祉計画については、障害者団体や郡内の障害者福祉施設関係者との懇談によるニーズ把握をしたい。具体的にはコンサルタント会社と打ち合わせをしながら進めたいと考えている。

Q 町内で運営している障害者施設に対して、町としての具体的支援は。

A 山名町長 高齢者施設等他の社会福祉法人との関係もあり、直接

町が補助金等により障害者施設を支援する予定はない。

しかし、民間や社会福祉法人が町内で不足している障害者サービスを提供する施設整備を行なう際には、用地の貸借や提供など側面的な支援については考えたい。

現在、町社協において障害者の活動拠点・交流施設の整備と運営について協議されていると聞いている。今後、町としては町社協と調整しながら施設整備を進めたいと考えている。

Q 社会福祉法人中播福社「香翠寮」(香寺町にある入所施設)を建替える構想は。

A 山名町長 入所定員30名中12名が神河町の方。

施設からは「昭和55年の建築であるが、耐用年数は11年残っており、現在のところ建替える予定はない」との回答。

この件は、中播福社会での理事会(理事長は山名町長)等において審議をする必要がある中で、審議を見守りながら考えていかなければならないと思っている。



広いスペースを望むゆめ花館

ひとこと

「安心して将来を託せる施設があれば、親や家族は今を頑張れる。」と

主な議会日程

8月

8日(火)

産業建設常任委員会

10日(木)

民生福祉常任委員会

17日(木)

総務文教常任委員会

22日(火)

公立神崎総合病院北館
改築事業調査特別委員会

31日(木)

議会運営委員会

9月

5日(火)～8日(金)

第81回定例会

(提案・質疑等)

12日(火)

総務文教常任委員会
(付託)

13日(水)～14日(木)

決算特別委員会

20日(水)～21日(木)

定例会(一般質問)

28日(木)

定例会最終日(採決)

※この日程は変更となる場合があります。

第80回
定例会

いっぱん質問

ケーブルテレビ放映

下記のとおり再放送が行われます。
ぜひご覧ください。

《8月8日(火)》

- ① 廣納 良幸 議員 午後7時00分～
- ② 藤原 裕和 議員 午後8時00分～

《8月9日(水)》

- ① 山下 皓司 議員 午後7時00分～
- ② 松山 陽子 議員 午後8時00分～

議会報告会を開催します

- 平成29年10月24日(火)
19時30分～

粟区公民館

- 平成29年10月25日(水)
19時30分～

越知区公民館

多くの皆様の参加をお待ちしています。
お気軽にお越しください。

あ
と
が
き

6月の梅雨入り宣言後、好天が続き
水不足が心配されましたが、7月に入り、
ようやく梅雨らしい天候になってきました。
蒸し暑く過ごしにくい気候ですが、特に
農業をされている方には恵の雨となっている
ことでしょうね。

湿度が高く気温が高いと熱中症が心配に
なってきましたね。熱中症は家の中においても
かかるそうです。

無理をせず、水分補給をこまめにして、
今からの暑い季節を乗り切りましょう。

(S・K)



広報公聴活動調査
特別委員会

委員長 藤原 資広

副委員長 三谷 克巳

委員 山下 皓司

委員 藤森 正晴

委員 小寺 俊輔

委員 松山 陽子

